



あつたかくいお風呂のように

白光園長 梅津正夫

昨年8月からお世話になっております。福祉については全くの素人ですが、皆様方のご指導におすがりして職務を全うしたいと考えておりますのでなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

「成長」と言う言葉をここ数年全く聞かれなくなりました。経済が成長し賃金が上がり、昨日よりも今日、そして、今日よりも明日がよくなる。高度経済成長の中では、人々は何よりも「成長」の果実である所得の向上を期待し、自分の生活を充実させることに必死だったと思います。そして、自分の幸せを獲得する過程で、人と人とのつながりを薄めてしまう結果になったと言えるのではないのでしょうか。親子の関係でもどこか似たような所があるように思います。

「成長」が止まり高齢化社会を迎えた現在「お役所」に全てを委ねると言うことは難しくなり「高齢化は地域で起る共同社会上の課題」として一人一人が受け止めなければならない時代になったと思います。例えば小学校や中学校にはPTAや後援会が組織されています。このことは子供達により良い教育環

境をどのように提供するかを地域全体で考え取り組んでいることになると思います。この事と同じように、高齢化が進みその環境をどうすれば良いかと言うことを、社会全体で考えさせ合う介護システムが必要だと思えます。

白光園では「お花見ドライブ」「希望外食ドライブ」「霞城公園ドライブ」「フラワー長井線乗車体験」など園外行事にも積極的に取り組んでおります。また、敬老会にもお呼ばれしておりますが、しかし、限られた職員であるため、園外行事やご招待への対応については入所者全員にまんべんなくと言うわけにはなかなか行かないのが現状です。それでも出来る限りの工夫をし、入所者の方々に満足のいく介護に頑張っております。

集落の中に集落の子供の数と同じ位のホームヘルパー有資格者が居て、「向う三軒両隣」に声を掛け合い、「お互い様」が通じる介護をしあえるようになれば「あつたかくいお風呂」に入ったような素晴らしい「福祉の里」ができるものと思えます。そんな地域社会になることを夢見ております。



霞城公園ドライブ



十月二十一日、秋晴れの絶好のドライブ日和。ちよっぴりお洒落して足どりも軽やかに車に乗り込み、一路目指すは山形市。

目的地に到着すると、最初は山形県立美術館を見学。丁度、院展の公開があり素晴らしい絵画を鑑賞する。熱心に鑑賞される方、美人画を観ては「家の奥さんより、こっちの方がいいな。」とジョークをとばされる方、ショットピングを楽しむ方、美術館を横文字で「ミュージアムだよ。」と、自慢げに単語を発する方といる。皆さんそれぞれに感動されたようでした。(ちなみに、白光園でも絵画教室を行っており、大変興味深く見学され、園に戻ると早速筆を取られた方もいらっしゃいました。)

美術館を後にして、一行は次の霞城公園へ、東大手門より最上義光公になった気分で行き入る。美しく整備された公園に感激しながら芝生の上で昼食をとる。本日の昼食は、白光園特製の「紅葉弁当」お弁当の掛け紙には、美しく彩られた紅葉の絵。調理の方が心を込めて描いてくれたもの。掛け紙を外し蓋を開けると、「ウワー、美味しそう」と、歓声が上がった。お弁当の中身は匂がきつり詰まっ



ている。舌鼓をうちながら、どなたもいい笑顔でありました。やっぱり外で食べるのは最高。満腹になった後は、のんびりとひと休み。職員も遠慮なく大の字になり、皆さんと共に雑魚寝して大空を見上げる。澄みきった青い空、行き交うトンプ、銀杏の薫りなどなんのその。ところが洗われるような秋の一日でした。

実習生のコーナー

近年、高齢者福祉対策の重要性が社会的に認識され、各種専門学校、大学生からヘルパー養成等の熟年の方々まで幅広い年齢層の方が実習においてになります。今回は鈴木さんの感想を紹介します。

実習を通して学んだこと

郡山女子大学 鈴木睦子

私は、十一月十日から約二週間、白光園で実習をさせていただきました。実習へ伺う前は、二週間最後まで実習をやりとげることができかどうか、とても心配でした。

しかし、実際に実習に入ると、その心配は日が経つにつれて薄れていきました。それは、入所者の方々と多くの時間を過ごさせていただき、多くの事を教えていただいたからでした。また、自分がどのように行動すればよいかわからなくなった時に、職員の方々に親切にわかりやすく教えていただけました。

二週間の実習の中で、様々な行事にも参加させていただきました。その中でも私が最も印象に残っているのは、ミニ運動会での事です。日頃静かな入所者の方が、一生懸



命応援なさっていたり、夢中になって競技に取り組んでいらつしやる姿を見て、いつもとは違う表情に驚き、私自身「頑張らなければ。」とその姿に勇気づけていただいたくらいでした。私は、今回の実習を通して、介護技術はもろろんの事、どこでも、どんな時にも職員の方々、入所者、利用者の方々の優しさや笑顔にふれて、それらの大事さをも同時に学んだような気がします。今後、教えていただいた事を自分のものとしていけるように努力していきたいと思えます。本当にありがとうございます。また近いうちに白光園へ伺わせていただきたいと思えます。